

## ○社会問題解決型案件の推進

経済産業省の海外展開支援事業「飛びだせJapan！」で実施している実証事業等とAOTS補助事業との連携およびフォローアップなど、アフリカの社会問題を解決するための事業にも積極的に取り組みます。

### 事例：妊婦健診における業務改善のためのモバイルアプリ研修（タンザニア）

【協力企業：キャストリア株式会社】

「技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）」

#### 社会課題

SDGs3.1では、「2030年までに、世界の妊婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する」との目標を掲げているが、タンザニアの妊産婦死亡率は出生10万人当たり524人（2017年）と目標には程遠い状況です。その主な原因として、妊婦のカルテが一元管理されていないこと、妊婦が妊娠・出産に際し、基礎的知識を持ち合わせていないことが考えられます。

経済産業省海外展開支援事業  
「飛びだせJapan！」の補助金を活用し、現地調査と実証試験を実施

日本企業の妊婦の情報ネットワークを構築するアプリの普及により、タンザニアの高い妊産婦死亡の改善を目指すため、現地の病院の助産師が日本企業のモバイルアプリを用いた妊婦健診を行うとともに、協業可能性のある企業、病院等との関係構築を行い、妊婦の適切なケアに貢献。

連携  
フォロー  
アップ

AOTS補助事業（海外研修）  
『妊婦健診における業務改善のためのモバイルアプリ研修』



現地でモバイルアプリ導入に携わる助産師のトレーナーを育成することで、アプリの普及促進を図り、引いては、妊婦の健診受診回数をWHO推奨回数まで引き上げ、母子の安全な出産の促進を図ります。

#### <案件概要>

協力企業：IT関連教育関連企業  
研修生：妊婦健診を行う病院に勤務する助産師

人数：3名×2回

研修期間：7日間、6日間



アプリを確認する母親



アプリを使った疑似妊婦健診の様子

[<AOTS補助事業の詳細については、こちらのウェブページをご参照ください。>](#)